

市長記者会見記録

日時：2023年3月22日（水）14時00分～14時06分

場所：第3庁舎18階 講堂

議題：市政一般

<内容>

【司会】 ただいまより定例市長記者会見を始めます。本日の議題は市政一般となっております。それでは、早速質疑に入りますが、進行は幹事社の方によりしくお願いいたします。

《市政一般》

《統一地方選挙について》

【時事（幹事社）】 よろしくお祈いします。時事通信です。いよいよ、明日から知事選を皮切りに統一選が始まります。市長は、今回の統一選にどんな課題があつて、どういった期待があるのかというのをお聞かせください。

【市長】 そうですね、本当に4年に1度の、私たちの基礎自治体を含めて、市民の身近な生活のところを考える大きな機会だと思いますので、ぜひ、それぞれの候補者の政策などをよく見比べていただいて、投票率が高くなるということを期待しております。争点というのは、もうそれぞれでしょうから、候補者というよりも有権者から見る争点で様々あるでしょうから、私はこうだと思つたというのはないんですが、活発な議論が行われることを期待しています。

《2022年度の振り返りと2023年度の抱負について》

【時事（幹事社）】 ありがとうございます。もう一点、今回、今日は年度末最後の記者会見ということで、2022年度をちょっと振り返つて、御感想と次年度に対する抱負を。

【市長】 そうですね、やっぱり今年度後半からはコロナも大分落ち着いてきたということもあつて、様々な部分が3年ぶりに復活するという形が見えてきたということになりますので、来年度からは、本当にウイズコロナの状況の中で、普通の生活というのを早く取り戻すことをやっいていかなければならないなと思つています。地域経済についても、より一層、回復をさせていかなければいけないと思つていますので、市としても、できることをしっかりとやっいていきたいと思つています。

【時事（幹事社）】 ありがとうございます。私からは以上です。

《WBC2023について》

【朝日（幹事社）】 すいません、朝日新聞です。WBCの優勝を受けて、一言お願いします。

【市長】 携帯電話に速報が流れてきたので、もうすごうれしかったですね、やっぱり。非常にみんな注目していて、何かああいう国別対抗のというのは盛り上がりますよね。大谷選手をはじめ、すばらしいメンバーの皆さんが躍動されたのを本当にうれしく思いました。感動しました。

《川崎臨海部が液体水素サプライチェーンの商用化実証の受入地に選定されたことについて》

【朝日（幹事社）】 ありがとうございます。あと、すいません、この間、川崎の臨海部にNEDOをはじめ企業による水素タンクの建設と供給網の受入地の決定という知らせが入りまして、非常に規模の大きい水素タンクが、備蓄タンクができるということで、かなり川崎市にとって画期的なニュースだったと思うんですけども、コメントもいただきましたけれども、改めて、期待と今後の展望と市の関与の仕方についてお聞かせ願えますか。

【市長】 これまでも、川崎は水素の利活用というのを進めてきましたけれども、併せて、もう10年前から、川崎市は水素をどうやって活用していくかというのを、協議会をつくってやってきました。こういった取組が実って、今回、大規模な水素ということでは初めてとなる形になったわけでありまして、御案内のように、1都7県の家庭用電力というのを補って余りある発電をしているエネルギー供給基地が、今後、水素混焼から始まるということになると思いますが、そういったものに、エネルギー転換の大転換になるというのが川崎から始まるというのは、非常に大きな脱炭素へ向けた取組だと思います。

そういう意味では、川崎の地域経済ということ以上に、やはり我が国の直面している課題というものに貢献できるというのは非常にうれしく思っていますし、これからも民間企業の事業者の皆さんとしっかりと連携を組んで、水素社会を引っ張っていく、そういう自治体でありたいと思っています。

【朝日（幹事社）】 ありがとうございます。各社、どうぞ。

【司会】 質問は以上でよろしいでしょうか。

それでは、以上をもちまして、市長記者会見を終了いたします。ありがとうございました。

（以上）

-
- ・この記録は、重複した言葉づかい、明らかな言い直しや質問項目などを整理した上で掲載しています。

(お問合せ) 川崎市役所総務企画局シティプロモーション推進室報道担当

電話番号：044(200)2355